※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新選　地理総合」welcome to geography（実教出版） 「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料　COMPLETE2026」（帝国書院） 「地理総合演習ノート」２０２６年版（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地図での国や都市の位置関係を理解し、国同士のつながり、地形や気候の関係による様々な統計資料をしっかりと読み解く力をつけるように取り組んで欲しい。

２　学習の到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。 地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1編地図や地理情報システムでとらえる現代世界	私たちが暮らす世界 地図や地理情報システムの役割 資料から読み取る現代世界 日本の位置と領域 (領空・領海・領土)	a:世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域や地形図・地理院地図についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 b:地球上の位置に関する事柄について，緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。GIS を操作し，計測結果や主題図を表示している。 c:地球上の位置に関する事柄(日本の領域など)に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。さまざまな GIS を実際に使用し，GIS の仕組みや GIS で実行できることをとらえようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 レポート課題 討議・発表
	第2編国際理解と国際協力	生活文化の多様性と国際理解 生活文化と自然環境①地形 生活文化と自然環境①気候	a:世界にみられる多様な文化，産業とその分布について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 b:地域の文化や人々の暮らし，産業の違いを，それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 レポート課題 討議・発表

※令和４年度以降入学生用

後期	第2編国際理解と国際協力	生活文化と産業 地球環境問題 資源･エネルギー問題 人口問題 居住･都市問題 民族問題 持続可能な社会の実現をめざして	a:さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 b:地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とられようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 レポート課題 討議･発表
	第3篇持続可能な地域づくりと私たち	日本の自然環境の特色 さまざまな自然災害と防災 生活圏の調査と地域の展望	a:変化に富んだ日本列島の自然環境，大きな被害をもたらす自然災害について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，また自助・共助・公助の観点から防災・減災へ向けた取り組みとその課題について，各地域におけるさまざまな事例を理解し，その知識を身に付けている。 b:日本列島の地形や気候と自然災害について，地域性や日常生活との関連をふまえ，自助・共助・公助の観点から，防災・減災へ向けた取り組みとその課題について，各地域におけるさまざまな事例をもとに考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴と自然災害や人々の生活との関係性についての関心と課題意識を高め，自助・共助・公助の観点から，防災・減災へ向けた取り組みとその課題について意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 レポート課題 討議･発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度